令和５年度

第５次総合計画　中期戦略事業プラン　事務事業評価シート

事業名	かかりつけ医利用促進事業			事業番号	02-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部健康づくり担当	髙橋　健一	健康づくり課	高橋　和行	

計　　画　　（Ｐｌａｎ）

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり
		施策展開の方向	1	生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる
		施策	2	安心できる地域医療体制の充実
予算事業名	かかりつけ医普及定着促進事業費			
事務区分〔選択〕	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　(選択してください)→		法令上の位置づけ	努力規定がある
事業開始年度	開始年度	平成30年度　～	終了年度	
関連法令等	医療法			
国・県の計画等	神奈川県地域医療構想 神奈川県保健医療計画		計画期間	平成28年度～令和7年度 平成30年度～令和4年度
関連個別計画	健康いせはら21（第3期）計画		計画期間	平成30年度～令和4年度
実施の背景 （事業を取りまく環境・市民ニーズ）	強い病院志向などから、多くの患者が病院に集中し、「2時間待ち3分診療」などと言われる状況も依然として続いています。多くの市民が「かかりつけ医」の必要性を理解しつつも、「かかりつけ医」が十分普及・定着していないのが現状です。			
目　的 （何をどうしたいのか）	医師会など関係医療機関と連携を図りながら、「かかりつけ医」等の普及と定着を促進します。			
主な対象 （誰・何を対象に）	市民			
事業内容 （手段、手法など）	・「かかりつけ医」の普及・定着を促進するため、医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携し、「かかりつけ医ガイド」を作成するとともに、「かかりつけ医普及啓発講座」を開催します。 ・定期的な情報提供を図るため、市広報や市ホームページ等による周知を行います。			

事業行程	項目	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	かかりつけ医ガイドの作成・配布	事務調整	作成・配布
	かかりつけ医普及啓発講座の開催	3回実施	3回実施
	医師会との定期的な情報交換会の開催	継続実施	継続実施

目　標	【指標名】	【現状値】	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	かかりつけ医普及啓発講座参加者数	68人 （令和2年度）	150人	180人

事業実施（Do）

事　業　実　施　　（Ｄｏ）

事業の「取組方針」 （前年度事務事業評価）	感染症拡大防止への対策が継続して必要であり、大規模の講演会等の計画はしていません。このため、地域や事業所等小規模での健康増進事業実施時に、かかりつけ医についての普及啓発を合わせて行っていきます。

実施方法 〔選択・記入〕				
	◉ すべて直接実施		○ 左記以外	
	☐ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者	
	☐ 補助金		補助先	
	☐ その他		具体の内容	

実施結果	項目	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	かかりつけ医ガイドの作成･配布	事務調整	事務調整
	かかりつけ医普及啓発講座の開催	1回実施	1回実施
	医師会との定期的な情報交換会の開催	実施	実施

実施した取組の内容	コロナ禍であり、かかりつけ医普及啓発を目的とした対面の講座は1回のみの開催としましたが、10人程度の参加者である小規模での生活習慣病予防等の健康教育の場で、かかりつけ医についての啓発を行いました。

目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	かかりつけ医普及啓発講座参加者数	68人 （令和2年度）	85人	58人

コスト			年度	令和3年度　実績				令和4年度 実績			
	事業費合計(a)			0	千円			56	千円		
	内訳	国県支出金 ①		0	千円			0	千円		
		地方債　②		0	千円			0	千円		
		その他特財　③		0	千円			0	千円		
		一般財源 (a)-①-②-③		0	千円			56	千円		
	国県支出金の内容										
	その他特財の内容	受益者負担		○ 有　◉ 無		前回の改定時期					
		その他									
	人件費	正規職員		0.1	人	818	千円	0.1	人	857	千円
		その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計(b)		0.1	人	818	千円	0.1	人	857	千円
	トータルコスト (a)+(b)			818	千円			913	千円		
	単位当たりコスト	対象数	定義	市民	単位			市民	単位		
			対象数	101,381	人			101,119	人		
		総事業費／対象数		8	円			9	円		

評価　（Check）へ

評　価　（Ｃｈｅｃｋ）

進捗状況 〔選択・記入〕	○ 計画どおり（A） ◉ 概ね計画どおり（B） ○ 計画どおり進捗せず（C）	B	**左記判断理由**	目標回数の講演会を開催することはできませんでしたが、コロナ禍において市民ニーズに合った講座を実施できたと考えています。
実施水準 〔選択・記入〕	○ 他市より高い水準で実施（A） ◉ 他市と同水準で実施（B） ○ 他市より低い水準で実施（C） ○ 一律に比較できない事業	B	**他都市の事業内容等**	近隣市・神奈川県においても、かかりつけ医普及啓発を実施しています。
有効性 〔選択・記入〕	○ 高い（A） ◉ 普通（B） ○ 低い（C）	B	**左記判断理由**	コロナ禍の経験から、かかりつけ医の役割を考える機会があった市民が増えている時期に、健康増進の講話と合わせて、かかりつけ医について啓発する講座を開催できたと考えます。
効率性 〔選択・記入〕	○ 効率的に実施されている（A） ◉ 改善の余地がある（B） ○ 抜本的な改善が必要である（C）	B	**左記判断理由**	かかりつけ医の重要性について、講座や広報等で市民に伝えていますが、かかりつけ医をもつ市民の増加にはつながりにくく、手法について検討する必要があると考えます。

取組内容の改善（Action）へ

取組内容の改善　（Ａｃｔｉｏｎ）

所管部長による総評	医師会等関係機関と調整をしながら、様々な機会での市民への普及啓発を地道に実施していくことが、重要と考えます。